

年

組

番

名前

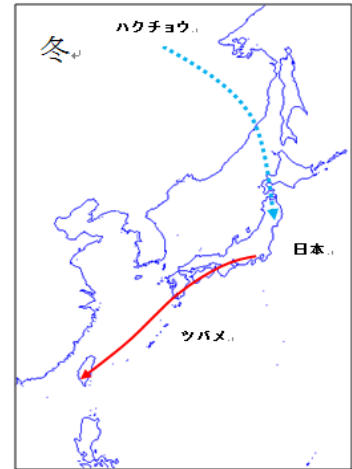
教材 2 - (3) の解説**季節と生き物(チャレンジ問題)**

(1) 次の文は日本のわたり鳥についての文章です。この文章を読んで、下のことを説明しましょう。

○日本のツバメは春に南の国から日本にやってきて、夏に日本でひなを育て、冬が来る前にはまた南の国へ移動していきます。一方ハクチョウは冬になる前に北の国からやってきて日本で冬をすごし、春に北の国へもどってひなを育てます。

○ツバメのエサは、昆虫などで、ハクチョウは湖や川の水中の水草などを食べます。

○ツバメが日本から移動する南の国は一年中気温が高く、一方ハクチョウが移動する北の国は気温が低く、冬には湖がこおってしまうそうです。



① ツバメが冬に日本から南の国へ移動してすごすのはどうしてだと考えられますか。この文章を読んで考えられることを説明してみましょう。

日本の冬は、気温が低くなり、ツバメがえさとしている昆虫が少なくなるので、冬でも気温が高く昆虫がいる南の国へ移動して冬をこすのだと考えられる。

② ハクチョウが冬に日本に来るのはどうしてだと考えられますか。この文章を読んで考えられることを説明してみましょう。

ハクチョウは、冬になると北の国では湖がこおり、えさとなる水草を取ることができなくなるので、冬は日本の湖などで過ごすと考えられる。ハクチョウにとっては日本の冬の気温は適当な気温であると考えられる。

ポイント

○理由を説明するときには、どうしてそうなるのかという、根拠を示すことが大切です。

解説

ツバメは日本で夏を過ごすので夏鳥と呼ばれています。またハクチョウは日本で冬を過ごすので冬鳥と呼ばれています。

同じ鳥でも、季節によって見られる種類や産卵の時期や巣立ちなどに違いがあります。